

星城高等学校創立45周年 星城中学校創立15周年 記念式典



学校法人名古屋石田学園
理事長・学園長 石田 正城

星城高等学校創立45周年・星城中学校創立15周年を迎え、「安心・安全」をモットーに、開放的な素晴らしい校舎が完成いたしました。

「教育は100年」と申しますが、今から50年ほど前に創立者の石田鑑徳先生は戦後の混乱、そして青少年の動向を憂い、自ら高等学校の設立を思

い立ったのでございます。しかしながら、名古屋英学塾という、一私塾の経営者で資金があるわけではございません。まさに「志」と「借金」だけで、昭和38年にこの豊明の地に星城高等学校を設立いたしました。いろいろな方々のお陰をもちまして今回、新校舎が完成しましたが、やはり学校というのは「中身」が大切でございませぬ。これから50年先を見据えて、建学の精神の高揚・具現に徹して努めていく覚悟でございませぬ。

幸い、第1回の卒業生が還暦を迎える年頃になられていますが、多くの卒業生がさまざまな分野でご活躍されており、非常に嬉しく思っています。

5月12日(土) キャンパス竣工記念式典



空手部「演舞」

平成19年5月12日(土)、「星城高等学校創立45周年・星城中学校創立15周年キャンパス竣工記念式典」が開催されました。学園にゆかりが深い方々にお越しいただき、「快適」、「安心・安全」をコンセプトに完成した新校舎や卒業生の作品を見学されました。

記念式典では、アトリウム1Fにて星城高等学校空手部による燕飛(エンビ)という形の「演舞」が行われました。燕が飛ぶようにスピードがあり、生き生き

とした印象を与える形です。続いて理事長挨拶、西川流西川まさ子氏らによる祝舞「連獅子」が行われました。獅子は能から集材したものでお祝い事に用いられ、特に連獅子は代表的な日本舞踊の演目であり、お祝いにもふさわしい紅白の獅子での舞いでした。この後、新しく完成しました体育館「修徳館」にて祝賀会が行われ、各々ご歓談されました。

と印象を与える形です。続いて理事長挨拶、西川流西川まさ子氏らによる祝舞「連獅子」が行われました。獅子は能から集材したものでお祝い事に用いられ、特に連獅子は代表的な日本舞踊の演目であり、お祝いにもふさわしい紅白の獅子での舞いでした。この後、新しく完成しました体育館「修徳館」にて祝賀会が行われ、各々ご歓談されました。



祝舞
「連獅子」

5月13日(日) 感謝の集い



星城大学リハビリテーション学部
教授 江西 一成

翌日、「感謝の集い」を開催。日頃のご厚情に感謝し、地域の方々に数多くご参加いただきました。記念館では、江西一成先生(星城大学リハビリテーション学部教授)による「こころとからだの老化と予防」と題した講演会が行われました。アトリウム1Fでは、ガムラン(インドネシア・バリ島の民俗音楽)の、迫り来る躍動感、空気をも変えんばかりの音のうねりが、聞く者を魅了していました。そして、星城中学校2・3年生によるアンサンブル演奏。

卒業式や入学式でも生演奏されている、「威風堂々」「エーデルワイス」「浜辺の歌」「ウォーキング



ガムラン



星城中学校アンサンブル演奏

マチルダ」等を披露しました。アトリウム2Fでは、茶道部「野立」。大盛り上がりを見せたのは、「母の日プレゼント」抽選会でした。当選番号が読み上げられる毎に、大歓声の渦が会場中に沸き起こり、一喜一憂する光景があらちらで見られました。



「祝花」

池坊
総華督
大脇 香葉

大脇先生は、茶華道の授業を長年受け持たれ、日本の文化を生徒に指導して頂きました。

5月19日(土)

平成17年度卒業生のための 新校舎披露の集い



校舎の工事中のまま卒業した第41回生を対象に開催されました。約200名の卒業生と保護者の方々が参加され、3年次の旧担任とクラス別懇談会や旧友との再会に笑顔が溢れていました。

更に進化する「星城美術館」



星城美術館
館長 西川 憲治

この度45年経過をした高等学校の校舎の建替え工事が行われました。明るくて、安全で、機能的建物には多くの空間とスペースが確保されています。ここに石田校長は本物の美術工芸品を配置し、それを鑑賞させることによって、生徒たちに更なる情操教育を育んでいくことを目的としています。

そして、高等学校創立45周年、中学校創立15周年を迎え、学園が卒業記念品などで集積してきた絵画、彫刻、書等を一堂に集め、皆様にご披露する機会ができたことは大変喜ばしいことでした。また、同窓生を代表する芸術家、本学園ゆかりの彫刻家の皆様方に多大なご協力賜り心から感謝申し上げます。

これからは、微力ながらこれらの美術工芸品の図録をまとめ、一つのまとまったものの作成を考えていますので、よろしくご指導、ご協力の程お願い申し上げます。



星城美術館特設展示

「星城美術館Vol.2」を発行しました。今回は「彫刻特集」です。



「寒麗の夜明け」2005年

(「愛・地球博」日本館の館長室に展示される)
蛇雄 (DAO) (星城高等学校第1回生)

「個展の為ニューヨークに20日程滞在した折、日本を改めて感じ、帰国したら是非日本を描こうと思っておりました。私が今まで描いて来た生命の誕生シリーズの碧と緑の中に生れた富士です」と語る。

平成19年度 星城懇話会総会 新キャンパスにて開催

「星城高等学校創立45周年・星城中学校創立15周年」の記念式典に合せ、星城高等学校の新キャンパスで総会を開催しました。この日は、星城美術館(星城懇話会協力)の企画展も開催され、学校が所蔵している絵画・彫刻・書などを展示公開、訪れた方々に楽しんでいただきました。

総会では、18年度の報告と19年度の計画が審議され、承認されました。当会では、2年目を迎え、会員の方々に楽しんでいただくと同時に、より多くの方々に「星城懇話会」を知っていただくために、各地域での講演会や健康講座なども積極的に行っていきます。8月に、「ナゴヤドームで観る早慶野球戦」、9月には「名古屋をどり第60回記念公演鑑賞会」を開催する予定です。その他、様々な事業を企画してまいります。



管理棟6F会議室

どうぞ皆様も、「みんなで一緒に楽しく学ぶ場」星城懇話会にご参加下さい。